



平成30年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成29年11月6日

上場会社名 萩原電気株式会社

上場取引所 東名

コード番号 7467 URL <http://www.hagiwara.co.jp/>

代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 岩井 三津雄

問合せ先責任者 (役職名) 取締役副社長 (氏名) 福嶋 洋二

TEL 052-931-3511

四半期報告書提出予定日 平成29年11月6日

配当支払開始予定日

平成29年12月8日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第2四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第2四半期	52,376	9.0	1,651	28.7	1,680	38.2	1,142	30.8
29年3月期第2四半期	48,046	8.5	1,283	9.1	1,216	11.2	874	0.2

(注) 包括利益 30年3月期第2四半期 1,245百万円 (90.4%) 29年3月期第2四半期 654百万円 (21.8%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第2四半期	140.66	
29年3月期第2四半期	106.43	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年3月期第2四半期	53,981	26,561	49.2
29年3月期	52,370	25,681	49.0

(参考) 自己資本 30年3月期第2四半期 26,561百万円 29年3月期 25,681百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期		35.00		45.00	80.00
30年3月期		40.00			
30年3月期(予想)				45.00	85.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

30年3月期(予想) 期末配当金の内訳 普通配当 40円00銭 記念配当 5円00銭

3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	107,000	5.2	3,450	11.3	3,400	11.3	2,250	2.3	276.91

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更 | : 無 |
| 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年3月期2Q	8,318,000 株	29年3月期	8,318,000 株
期末自己株式数	30年3月期2Q	192,686 株	29年3月期	192,653 株
期中平均株式数(四半期累計)	30年3月期2Q	8,125,323 株	29年3月期2Q	8,212,002 株

四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についての注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

当社は、以下のとおり投資家向け説明会を開催する予定です。この説明会で配布する資料については、開催後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

・平成29年12月21日(木).....機関投資家・アナリスト向け決算説明会

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業の輸出や設備投資が持ち直し、収益が安定することで雇用環境の改善や個人消費の回復などが進み、緩やかな回復基調が続いております。一方海外経済では、欧米では景気は持ち直してきているものの、新興国における政情不安などで先行きの不透明感は払拭できない状況となっております。

このような環境のもと、当社グループの主要ユーザーである自動車関連企業では、自動車販売において北米では前年同期比微減となるものの、インドや中国などのアジア地域や日本国内では前年同期を上回り、総じて堅調に推移してまいりました。

当社グループにおきましては、総力をあげて売上高の伸長に努めるとともに、継続的なコスト抑制を推進し、収益の維持に努めてまいりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は523億76百万円（前年同四半期比9.0%増）となり、営業利益は16億51百万円（前年同四半期比28.7%増）、経常利益は16億80百万円（前年同四半期比38.2%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は、11億42百万円（前年同四半期比30.8%増）と増収増益となりました。

セグメントの業績は、次のとおりです。

(デバイスビジネスユニット事業)

デバイスビジネスユニット事業におきましては、自動車関連企業向けを中心とした半導体や電子部品等の販売に加え、組込ソフトウェア/ハードウェア開発支援、カスタムLSI等の技術サポートを行っております。

当第2四半期連結累計期間におきましては、主要ユーザーである自動車関連企業の生産が堅調に推移したことによる納入部品の増加や、安全にかかわる先進運転支援システム搭載車両の需要増が寄与した結果、デバイスビジネスユニット事業の売上高は439億10百万円（前年同四半期比8.4%増）、営業利益は20億8百万円（前年同四半期比23.3%増）となりました。

(ソリューションビジネスユニット事業)

ソリューションビジネスユニット事業におきましては、IT機器、計測機器及び組込機器の販売からITプラットフォーム基盤構築の提案に加え、FAシステムや特殊計測システムの設計・製造・販売及び産業用コンピュータの開発・製造・販売を行っております。

当第2四半期連結累計期間におきましては、主要顧客である自動車関連企業を中心とした企業の設備投資需要や情報化投資需要を的確に捉えたことや、計測分野及び組込分野の売上高が計画を上回る状況で推移したことにより、ソリューションビジネスユニット事業の売上高は84億66百万円（前年同四半期比12.0%増）、営業利益は4億12百万円（前年同四半期比22.8%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

資産合計は、前連結会計年度末に比べて16億11百万円増加し539億81百万円となりました。

流動資産は、前連結会計年度末に比べて15億17百万円増加し492億86百万円となりました。これは主に、受取手形及び売掛金が15億76百万円減少しましたが、商品及び製品が28億84百万円増加したことによるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて94百万円増加し46億95百万円となりました。

(負債)

負債合計は、前連結会計年度末に比べて7億31百万円増加し274億20百万円となりました。

流動負債は、前連結会計年度末に比べて10億84百万円増加し240億86百万円となりました。これは主に、支払手形及び買掛金が15億98百万円及び未払法人税等が1億50百万円減少しましたが、短期借入金が20億81百万円及び電子記録債務が6億81百万円増加したことによるものであります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて3億52百万円減少し33億33百万円となりました。これは主に、長期借入金が3億68百万円減少したことによるものであります。

(純資産)

純資産合計は、前連結会計年度末に比べて8億79百万円増加し265億61百万円となりました。

この結果、自己資本比率は49.2%（前連結会計年度末は49.0%）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成30年3月期第2四半期の実績を踏まえ、平成29年5月12日に公表いたしました「平成29年3月期決算短信〔日本基準〕（連結）」の平成30年3月期の通期連結業績予想を下記のとおり修正いたします。

通期連結業績予想（平成29年4月1日～平成30年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想（A）	百万円 105,000	百万円 3,000	百万円 2,920	百万円 1,980	円 銭 243.68
今回修正予想（B）	107,000	3,450	3,400	2,250	276.91
増減額（B－A）	2,000	450	480	270	
増減率（%）	1.9	15.0	16.4	13.6	
（ご参考）前期実績 （平成29年3月期）	101,755	3,100	3,055	2,198	269.12

通期個別業績予想（平成29年4月1日～平成30年3月31日）

	売上高	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想（A）	百万円 97,000	百万円 2,780	百万円 1,880	円 銭 231.37
今回修正予想（B）	98,900	3,200	2,100	258.45
増減額（B－A）	1,900	420	220	
増減率（%）	2.0	15.1	11.7	
（ご参考）前期実績 （平成29年3月期）	93,937	2,892	2,075	254.05

(修正の理由)

当社の想定に対し、先進運転支援システム搭載率の進展等があった事もあり、上半期の業績は当初予想を上回りました。

通期業績予想につきましては、先行き、地政学的なリスクによる世界経済に対する不透明感が残るものの、下半期に向けては当初の想定通りに推移するものと見ており、上半期の実績を踏まえ、通期業績を見直した結果、前回予想を上回る見込みとなりました。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,445	5,424
受取手形及び売掛金	27,801	26,224
電子記録債権	2,127	2,159
商品及び製品	10,977	13,861
仕掛品	349	422
原材料及び貯蔵品	176	228
その他	897	968
貸倒引当金	△5	△3
流動資産合計	47,769	49,286
固定資産		
有形固定資産	2,645	2,608
無形固定資産	107	105
投資その他の資産		
その他	1,847	1,981
貸倒引当金	△0	△0
投資その他の資産合計	1,847	1,980
固定資産合計	4,600	4,695
資産合計	52,370	53,981
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	12,884	11,286
電子記録債務	1,731	2,413
短期借入金	4,508	6,590
1年内返済予定の長期借入金	1,320	1,756
未払法人税等	639	488
受注損失引当金	0	56
その他	1,917	1,494
流動負債合計	23,002	24,086
固定負債		
長期借入金	3,243	2,875
退職給付に係る負債	191	156
その他	250	301
固定負債合計	3,686	3,333
負債合計	26,688	27,420

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,301	3,301
資本剰余金	3,792	3,792
利益剰余金	18,527	19,305
自己株式	△354	△354
株主資本合計	25,267	26,044
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	282	396
為替換算調整勘定	242	225
退職給付に係る調整累計額	△110	△105
その他の包括利益累計額合計	413	516
純資産合計	25,681	26,561
負債純資産合計	52,370	53,981

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
売上高	48,046	52,376
売上原価	43,620	47,326
売上総利益	4,426	5,050
販売費及び一般管理費	3,143	3,398
営業利益	1,283	1,651
営業外収益		
受取利息	4	3
受取配当金	7	8
為替差益	—	11
保険解約返戻金	—	30
関税還付金	15	—
その他	18	18
営業外収益合計	45	72
営業外費用		
支払利息	21	18
為替差損	58	—
売上債権売却損	15	23
その他	17	1
営業外費用合計	112	43
経常利益	1,216	1,680
特別利益		
固定資産売却益	120	—
資産除去債務戻入益	4	—
特別利益合計	124	—
特別損失		
固定資産処分損	0	1
減損損失	9	—
特別損失合計	9	1
税金等調整前四半期純利益	1,331	1,678
法人税等	457	535
四半期純利益	874	1,142
親会社株主に帰属する四半期純利益	874	1,142

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
四半期純利益	874	1,142
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	28	114
為替換算調整勘定	△248	△16
退職給付に係る調整額	0	4
その他の包括利益合計	△219	102
四半期包括利益	654	1,245
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	654	1,245

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,331	1,678
減価償却費	94	84
減損損失	9	—
固定資産除売却損益(△は益)	△120	1
貸倒引当金の増減額(△は減少)	3	△1
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△36	△28
受注損失引当金の増減額(△は減少)	—	55
受取利息及び受取配当金	△11	△11
支払利息	21	18
保険解約返戻金	—	△30
資産除去債務戻入益	△4	—
売上債権の増減額(△は増加)	28	1,545
たな卸資産の増減額(△は増加)	701	△3,010
仕入債務の増減額(△は減少)	△872	△916
その他	△15	△567
小計	1,128	△1,181
利息及び配当金の受取額	12	11
利息の支払額	△20	△17
法人税等の支払額	△515	△580
営業活動によるキャッシュ・フロー	604	△1,768
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の払戻による収入	300	—
投資有価証券の取得による支出	△36	△21
投資有価証券の償還による収入	100	—
有形固定資産の売却による収入	234	—
有形固定資産の取得による支出	△96	△43
無形固定資産の取得による支出	△13	△24
保険積立金の解約による収入	—	86
その他	17	△2
投資活動によるキャッシュ・フロー	506	△6
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△196	2,081
長期借入れによる収入	1,450	500
長期借入金の返済による支出	△1,547	△432
自己株式の取得による支出	△341	△0
配当金の支払額	△290	△366
その他	△15	△12
財務活動によるキャッシュ・フロー	△940	1,770
現金及び現金同等物に係る換算差額	△248	△16
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△78	△20
現金及び現金同等物の期首残高	5,543	5,375
現金及び現金同等物の四半期末残高	5,465	5,354

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損 益計算書計上 額(注) 2
	デバイスビジ ネスユニット 事業	ソリューショ ンビジネスユ ニット事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	40,490	7,555	48,046	—	48,046
セグメント間の内部売上高又は振替高	33	15	49	△49	—
計	40,524	7,571	48,095	△49	48,046
セグメント利益	1,628	335	1,964	△681	1,283

(注) 1 セグメント利益の調整額△681百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損 益計算書計上 額(注) 2
	デバイスビジ ネスユニット 事業	ソリューショ ンビジネスユ ニット事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	43,910	8,466	52,376	—	52,376
セグメント間の内部売上高又は振替高	46	11	58	△58	—
計	43,957	8,477	52,435	△58	52,376
セグメント利益	2,008	412	2,421	△769	1,651

(注) 1 セグメント利益の調整額△769百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。